

## 大 阪 狭 山 市

## 帝塚山学院大学と生涯学習推進に関する協定を締結

～学んだことを地域で生かすことができるまちづくり～

大阪狭山市は、平成18年2月7日、帝塚山学院大学と生涯学習推進に関する協定を締結しました。

## 背景

大阪狭山市は、市民が互いに人権を尊重しあい、すべての市民が輝く活力あるまちを目指しています。そのために、市民が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択し学ぶことができ、それをまちづくりに生かすことができる協働社会をめざし、その拠点となる市民活動支援センターを立ち上げています。一方、帝塚山学院大学は、生涯学習センターを設け、公開講座やコミュニティカレッジ講座、公開授業を開催するなど、地域に開かれた大学として地域の生涯学習に貢献しておられます。

このように、両者の生涯学習推進についての方向性は一致しています。そこで、自主的・自発的な市民の学習活動に対して、行政と大学が協働して支援することで、心の豊かさや生きがいをより実感できる生涯学習社会の実現が期待できます。

## 協定締結までの連携内容とその経過

市と大学は、1994年から「国際理解公開講座」を共催してきました。また、市の審議会委員や各種講座の講師、特別教育相談などを大学の先生に務めていただいています。さらに、市の成人式に大学の学生サークルが出演したり、市教育委員会事業の「フリースクールみらい」や市立幼稚園で預かり保育などに学生がボランティアとして参画いただいています。また、市の献血活動にも学生に協力いただいています。

このような両者のこれまでの交流は、市民はもち

ろん、帝塚山学院大学の学生にとりましても、有意義な生涯学習の場となっています。そこで、これまでの結びつきをさらに深めるための協議を重ねた結果、双方に生涯学習推進のための窓口を設け、連携を図ることでより実り多いものにしたいという結論に達し、協定を締結することにいたしました。

## ＜連携協力事項＞

- (1) 市と大学の人的、知的資源の交流
- (2) 市と大学の連携協力による調査研究及び事業の実施
- (3) 市並びに大学が主催する事業に対する相互協力及び支援
- (4) その他双方が協議のうえ必要と認める事項

これからも、これまで培ってきた連携、交流を基に上記の事項を取り決めてきた経緯を踏まえた上で、さらに、これまでのような面識のある個人対個人の関係から組織対組織に重点をおいた連携協力型に移行し、より緊密に意思疎通を図りながら、組織を挙げた取組を進めていく予定です。



## 今後の展開

帝塚山学院大学は、文学部のある狭山キャンパスと人間文化学部のある泉ヶ丘キャンパスを擁しています。



文学部では、学生が自分自身や自国の文化についてのアイデンティティを持ち、他者と豊かにコミュニケーションをしたり、情報を発信したりするため、表現力と知識、感性や創造性を磨き、地球規模で物事を考えることができる洞察力と共感力、そして行動力を養うことを目指しています。

また、人間文化学部は、さまざまなメディアが交錯する高度情報化と国際社会にあって、あらためて人間のところが重視されており、こうした現代社会のさまざまな問題に適切に対応し、幸せに生きるための実践的な教育を個人の将来の進路にあわせて行う実学主義の学部です。

さらに、この4月に、人間文化学部に「食」と「健康」について学び、管理栄養士をめざす「食物栄養学科」が開設され、新たな連携のテーマも広がりました。

今後は、以上のような特色ある学部、さらには大学院とも連携し、具体に取り組む事項等について、これまで以上に幅広い観点から双方の担当窓口が協議を進め、互いの持ち味を十分に発揮できるよう協定を活用していきます。特に、若い力と感性を持つ学生が、市全体を一つのキャンパスとして活用し、市民や地域との連携を含め、子育て支援や教育など市が取り組むさまざまなまちづくりに積極的に参画

することが期待されます。

これからも市と大学が包括的に連携することで、まちづくりの各分野で相互に連携・協力して、人材を育成し、活力ある地域社会を創るために地域の生涯学習推進に取り組みます。

この協定の締結記念事業として、英国の劇団を招き、5月20日（土）に市文化会館「SAYAKAホール」でシェークスピア劇『じゃじゃ馬ならし』を市と大学の共催で上演する予定です。

### <問い合わせ>

大阪狭山市政策調整室

市民協働・生涯学習推進グループ

電話：072-366-0011 内線 238

F A X：072-366-0051

E-Mail：shimin-kyodo@city.osakasayama.osaka.jp